

# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

<b>【研究課題名】</b>	顔面神経の縫合法による比較検討		
1. 研究の目的と方法	顔面神経麻痺の再建手術における顔面神経の縫合法として、従来の縫合糸のみを用いた方法と、フィブリン糊および吸収性メッシュを併用した縫合法が存在します。当院では近年後者の術式を多く採用しており、この術式の術後成績を検討することが目的です。これまで当院で手術を受け、外来にて経過を診させて頂いている患者さんの手術や外来での検査結果や治療、疾患に関するデータをもとに分析し今後の顔面神経麻痺治療の発展に役立てさせていただきます。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2029年9月30日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	外耳道癌及び耳下腺癌の診断を受けた患者さんで、2001年1月1日～2022年9月30日の間に耳鼻咽喉科による切除術及び形成外科による顔面神経の即時再建手術を受けた方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	年齢、性別、身長、疾患名、病歴、手術名、顔面神経再建方法、治療内容、手術部位感染症（SSI）、手術時間、出血量、誘発筋電図、柳原法・House-Brackmann法・Sunnybrook法による顔面神経麻痺評価、CT、MRI、顔写真	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。 2024年9月30日までのデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 形成外科学講座
		氏名	石塚 達也（いしづか たつや）
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 形成外科学講座 額見 理生（ぬかみ まさき）	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日：2024年12月～
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 形成外科学 講座 研究責任者：助教 石塚 達也（いしづか たつや） 窓口担当者：助教 石塚 達也（いしづか たつや） 電話番号：03-3433-1111（形成外科医局 内線 9240） 対応時間：平日 9：00 ～ 16：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。  
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。